

令和7年度 国立山口徳地青少年自然の家 教育事業

アドベンチャープログラム研修会

令和7年6月7日（土）～8日（日） 1泊2日

【目的】

徳地アドベンチャー教育プログラム（以下「TAP」）を中心とした体験を通して、その教育効果を体感するとともに、理念や手法について理解する機会を提供することで、参加者の指導能力の向上に資する。

【参加者】5名

【プログラムの内容】

- 1日目 開講式・オリエンテーション、体験①「アイスブレイク等」、体験②「ローエレメント等」、体験③「イニシアティブ等」
2日目 体験④「ハイエLEMENT等」、ふりかえり・理論

体験①



お互いを知り合ったり、緊張をほぐしたりするアイスブレイク

体験②



グループでのコミュニケーションや意思決定を必要とするイニシアティブやローエレメント、活動のふりかえり

体験③



イニシアティブやビーイングの作成

体験④



個人やグループでチャレンジの方法を選択したハイエLEMENT

ふりかえり・理論



最終イニシアティブとふりかえり 理論に関する講義

【参加者の声】

- ・アイスブレイクは、緊張感を和らげ、交流を深めるきっかけとなりよかった。
- ・チームで目標達成に向けた作戦会議をし、それを踏まえて実践をするという過程を通して、チームの皆とより仲を深めることができた。
- ・自分をさらけ出すことや仲間を信頼することの難しさを感じた。できたときの達成感が気持ちよかった。
- ・メンバーがよかったのでストレスなくできた。ストレスがないのいいかは、さておき。
- ・正直ハイエLEMENTは怖かった。ただ実際にやってみて、ひとりの力ではどうにもならない部分、他者を信じることで出来るようになる部分を感じ、やってみてよかったなと思った。

【成果】

- ・多くの活動を実際に体験することで、TAPの効果について実感を伴う学びの機会を提供することができ、好評だった。
- ・エレメントがなくてもできる活動は、自身のフィールドで参考にしたいという感想や、各プログラムの目的や意図、構成の仕方を学びたいという感想がみられたことから、参加者の指導能力の向上や指導者養成講習会への発展に期待できる。

【課題】

- ・参加したかったが日程が事業と重なり参加できないという施設職員の声を多く聞いた。早めに日程をHPで知らせる等、参加者が日程を調整しやすいようにしたい。
- ・参加者が少なく、外部指導員の確保につながりづらい状況である。山口県内の青少年教育担当部局や青少年教育施設、学校に対して積極的に広報を行うなど、引き続き連携を強化していきたい。